

平成17年度 高冷地水稻生育速報(第6報)

中山間農業技術研究所

1. 生育概況(7月12日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	60.2 (97%)	575 (107%)	4.2 (-0.5)	34.4 (-3.2)	10.6 (+0.7)
	前年	63.8	532	4.7	35.4	10.1
	平年	62.4	538	4.7	37.6	9.9
コシヒカリ	本年	70.0 (105%)	533 (95%)	4.6 (-0.1)	39.0 (+3.0)	10.1 (-0.2)
	前年	69.2	591	4.9	36.8	10.2
	平年	66.9	561	4.7	36.0	10.3
たかやまもち	本年	65.0 (100%)	433 (83%)	4.7 (-0.3)	37.8 (+0.3)	10.4 (-0.1)
	前年	66.2	427	4.8	37.0	10.4
	平年	65.0	519	5.0	37.5	10.5
ひだほまれ	本年	73.8 (108%)	464 (109%)	4.3 (-0.2)	36.3 (+0.3)	11.1 (+0.4)
	前年	68.7	433	4.4	36.9	10.6
	平年	68.4	428	4.5	36.0	10.7

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

気温はやや高めで推移しているが、降雨が多く日照は少なくなっている。
 「コシヒカリ」以外の品種では、茎数が前回調査時よりも減少している。いずれの品種も平年よりやや遅れて最高分けつ期は7月5日頃と推定される。
 葉色は、葉色板、SPAD値ともに値が低下してきており、特に葉色板では平年値よりやや薄くなっている。

2) 病虫害等の発生状況

セジロウンカ(夏ウンカ)の飛び込みを確認している。葉いもちは、本田では確認していないが、葉いもち検定ほ場ではすでに発生している。

3) 今後の管理

葉色は最高分けつ期以降低下しているが、「コシヒカリ」等で十分低下していない所が見受けられる。これは「ひとめぼれ」でも同様である。穂肥時期が遅れても良いので、葉色板で3.5以下を確認してから施肥したい。このとき穂肥量は、3割程度減を目安とする。
 気温は高めであるため、高標高地域を除き極端な深水管理は必要ないと思われるが、これから出穂揃いまで湛水状態としたい。

<参考> 前回調査時(7月5日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	51.3 (97%)	597 (107%)	4.9 (-0.2)	38.4 (-0.4)	9.9 (+0.7)
	前年	56.7	548	4.9	38.9	9.3
	平年	53.0	560	5.1	38.8	9.2
コシヒカリ	本年	57.1 (99%)	515 (86%)	5.0 (-0.2)	39.8 (+0.2)	9.6 (+0.1)
	前年	59.8	624	5.0	39.3	9.3
	平年	58.0	600	5.2	39.6	9.5
たかやまもち	本年	53.3 (95%)	440 (79%)	5.1 (-0.1)	41.8 (+3.2)	9.6 (-0.0)
	前年	58.1	474	4.9	37.9	9.5
	平年	56.3	559	5.2	38.6	9.6
ひだほまれ	本年	62.3 (111%)	515 (116%)	5.0 (+0.1)	39.9 (+1.7)	10.2 (+0.5)
	前年	59.8	455	4.6	38.5	9.5
	平年	56.4	443	4.9	38.2	9.7

中山間農業技術研究所
TEL 0577-73-2029
FAX 0577-73-2751